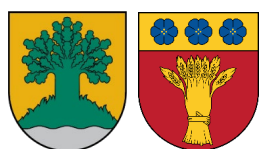




東川町・ヴァルミエラ郡

姉妹都市提携継続に関する調印式

2023年10月18日



ヴァルミエラ郡
HIGASHIKAWA THE TOWN OF PHOTOGRAPHY



姉妹都市締結の歴史

- 1992年 東川町文化ギャラリーでラトビア独立写真展を開催
[東川在住西原義弘氏（旧北海タイムス記者）の独立後のバルト三国取材がきっかけ]
- 1993年 町内有志からリガの日本語夜間学校へ教材を贈ったことから交流が始まる
- 2000年 北海道東川ラトビア交流協会が設立
- 2007年 当時の松岡町長を団長に9名がルーイエナ町を訪問
- 2008年 ルーイエナ町よりグンティス町長をはじめとした24名の訪問団が東川町へ来町し、姉妹都市提携に関する盟約書に調印、ルーイエナ町と東川町が姉妹都市になる
- 2012年 ルーイエナ町高校生2名が来町、東川高校生2名をルーイエナ町へ派遣し、それぞれ語学の研修などを行い、文化を体験
- 2015年 ルーイエナ高校が、第1回高校生国際交流写真フェスティバルに参加
- 2018年 東川町の10名の訪問団がルーイエナ町を訪れ、姉妹都市10周年を祝福
- 2021年 行政区域改革によるルーイエナ町のヴァルミエラ郡への合併

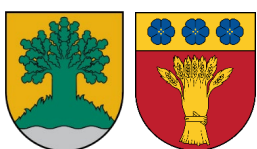


— そして2023年、ルーイエナ町域を含むヴァルミエラ郡と、姉妹都市提携の継続を確認
未来へ、友好関係のますますの発展と、平和を築いていくことを願って —

ヴァルミエラ郡の概要



ヴァルミエラ郡は2021年に、ヴァルミエラ市を中心に、各都市が合併して誕生した自治体です。郡の人口はおよそ52,000人、そのうち23,000人がヴァルミエラ市に住んでいます。首都のリガからは100kmほど北東に位置し、多くの幹線道路が交わる交通の要所です。9,000年前には人が住み、ヴァルミエラという地名も14世紀には既に登場する、歴史ある地域です。製造業が盛んで、1人当たりGDPは首都のリガに次いでいます。またヴィゼメ応用科学大学や、ヴァルミエラ劇場があり、教育と文化でも重要な地域です。南部にはラトビア最大のガウヤ国立公園の美しい自然が広がる屈指の景勝に加え、多数の歴史的モニュメントが存在し、世界中の旅行者を魅了しています。

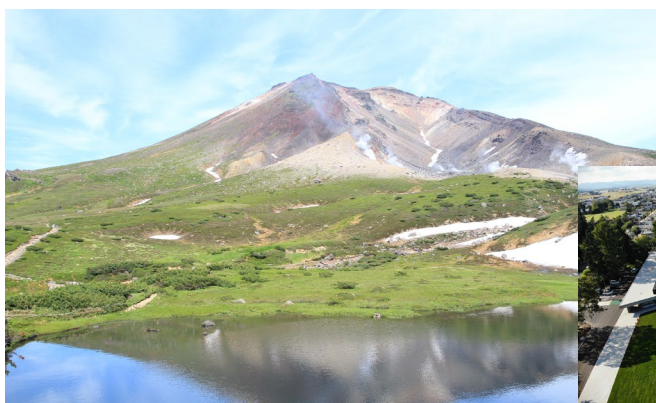


ルーイエナの概要

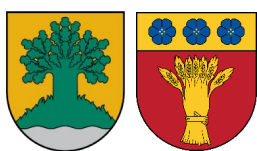


ルーイエナは、ラトビアの一番北に位置しており、首都のリガからは北東へ150kmのところにあります。人口約3,000人です。『ルーイエナ』という名前は、町を流れるルーヤ川が由来とされており、ルーヤ川はエストニア語のルヒ(丸木舟)からきたと言われていています。1997年から町全体が北ヴィゼメ生物圏保護区に指定され、美しい自然や風景を守りながら社会的・経済的發展を進めています。東川町とは2008年から姉妹都市として友好関係を築いており、訪問団や高校生がお互いに行き来しながら、言葉や文化を学びあっています。2021年には広域合併で複数の市町村と共にヴァルミエラ郡として歩んでいくことになりました。

東川町の概要



東川町は北海道のほぼ中央に位置し、北海道最高峰の旭岳(2,291m)をはじめ、美しい田園風景の広がる自然豊かな町です。稲作を中心とした農業と、木工業、観光業が主な産業となっています。東川町では全ての町民が地下水で生活しています。大雪山連峰に降り積もった雪が、大地に染み込み、そして長い年月をかけて湧き出してきた水です。東川の人々は、この空からの恵みである地下水に感謝しながら生活しています。人口は約8,500人。町の東部は日本最大の大雪山国立公園に含まれ、可憐な高山植物、鮮やかな紅葉、一面のパウダースノーなど、登山をはじめとしたアクティビティなど、四季折々の姿で世界中の旅行者を魅了しています。



ヴァルミエラ郡

 HIGASHIKAWA THE TOWN OF PHOTOGRAPHY



